

2004年12月期 中間決算説明会

2004年8月10日(火)

株式会社テンアートニ

(東証マザーズ:3744)

CONTENTS



会社概要

2004年12月期中間決算概要

2004年12月期 通期見通し

今後の事業戦略

会社概要

LinuxとJavaをコアテクノロジーに、ソフトウェア、ハードウェア製品の開発、販売とサポート、システム構築を行っている会社です。

プロフィール



- 【 設 立 】 1997年5月23日
- 【 所 在 地 】 東京都千代田区外神田2-15-2
- 【 代 表 者 】 代表取締役社長 喜多 伸夫
- 【 資 本 金 】 9億4,551万円
- 【 事 業 内 容 】 LinuxとJavaを用いたソフトウェアの開発、
販売及び企業情報システムの構築
- 【 従 業 員 】 101名(2004年7月末現在)
- 【 主 な 株 主 】 株式会社大塚商会
稲畑産業株式会社 他

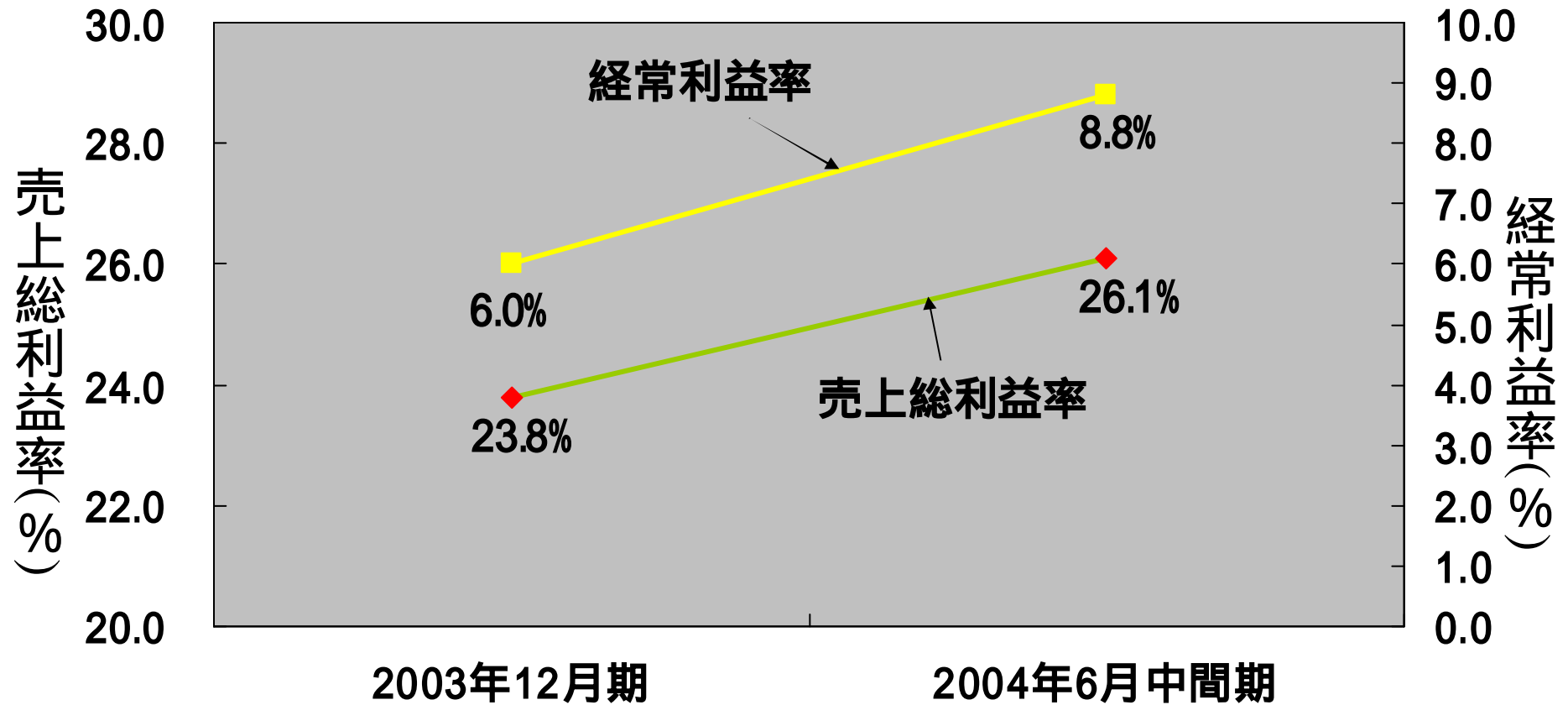
2004年12月期中間決算概要

2004年6月中間期(2004年1月～2004年6月)損益計算書

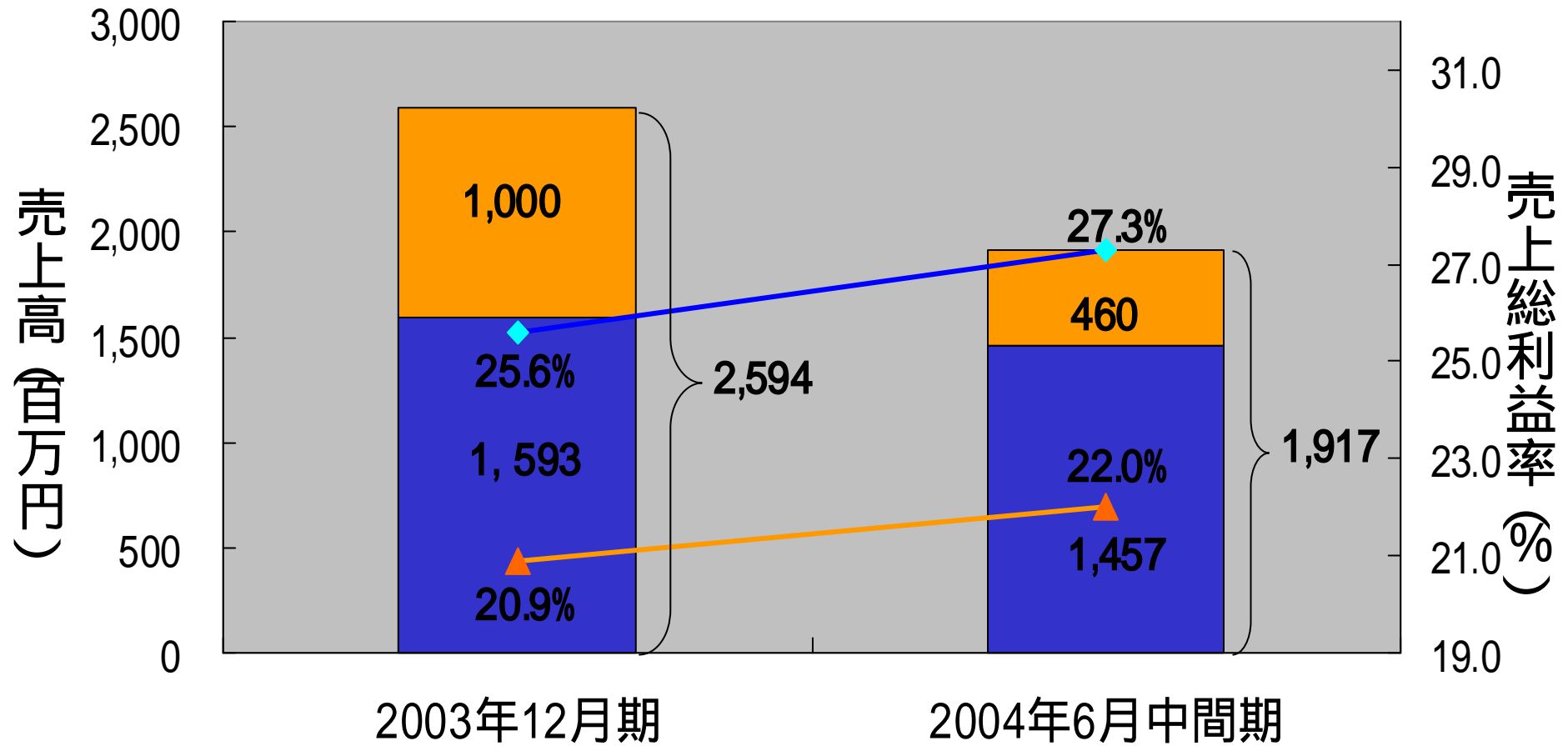
(単位:百万円)

	2003年12月期		2004年6月中間期				
	金額	構成	金額(実)	構成	金額(見込)	構成	見込比
売上高	2,594	100.0%	1,917	100.0%	1,890	100.0%	101.4%
Linux関連事業	1,593	61.4%	1,457	76.0%	1,445	76.5%	100.8%
Java関連事業	1,000	38.6%	460	24.0%	444	23.5%	103.5%
売上総利益	617	23.8%	499	26.1%	486	25.7%	102.7%
販売管理費	460	17.8%	329	17.2%	323	17.1%	102.0%
営業利益	156	6.0%	169	8.9%	163	8.6%	104.0%
経常利益	156	6.0%	168	8.8%	160	8.5%	104.8%
税引前純利益	156	6.0%	190	9.9%	182	9.7%	104.2%
純利益	227	8.8%	223	11.7%	213	11.3%	104.5%
1株当たり純利益	6,338.50円		6,239.74円				

利益率の推移

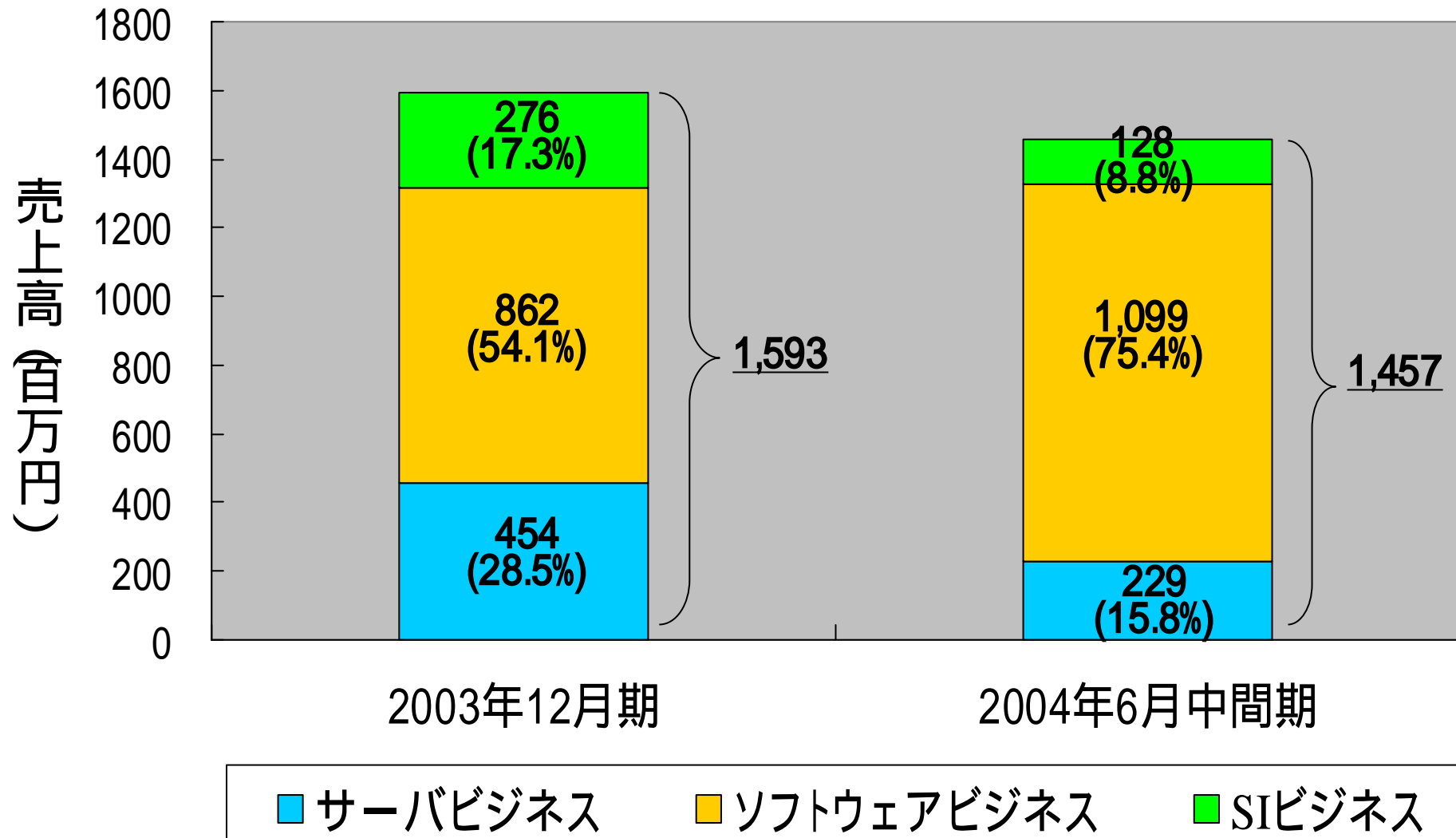


事業部門別売上高・利益率の推移

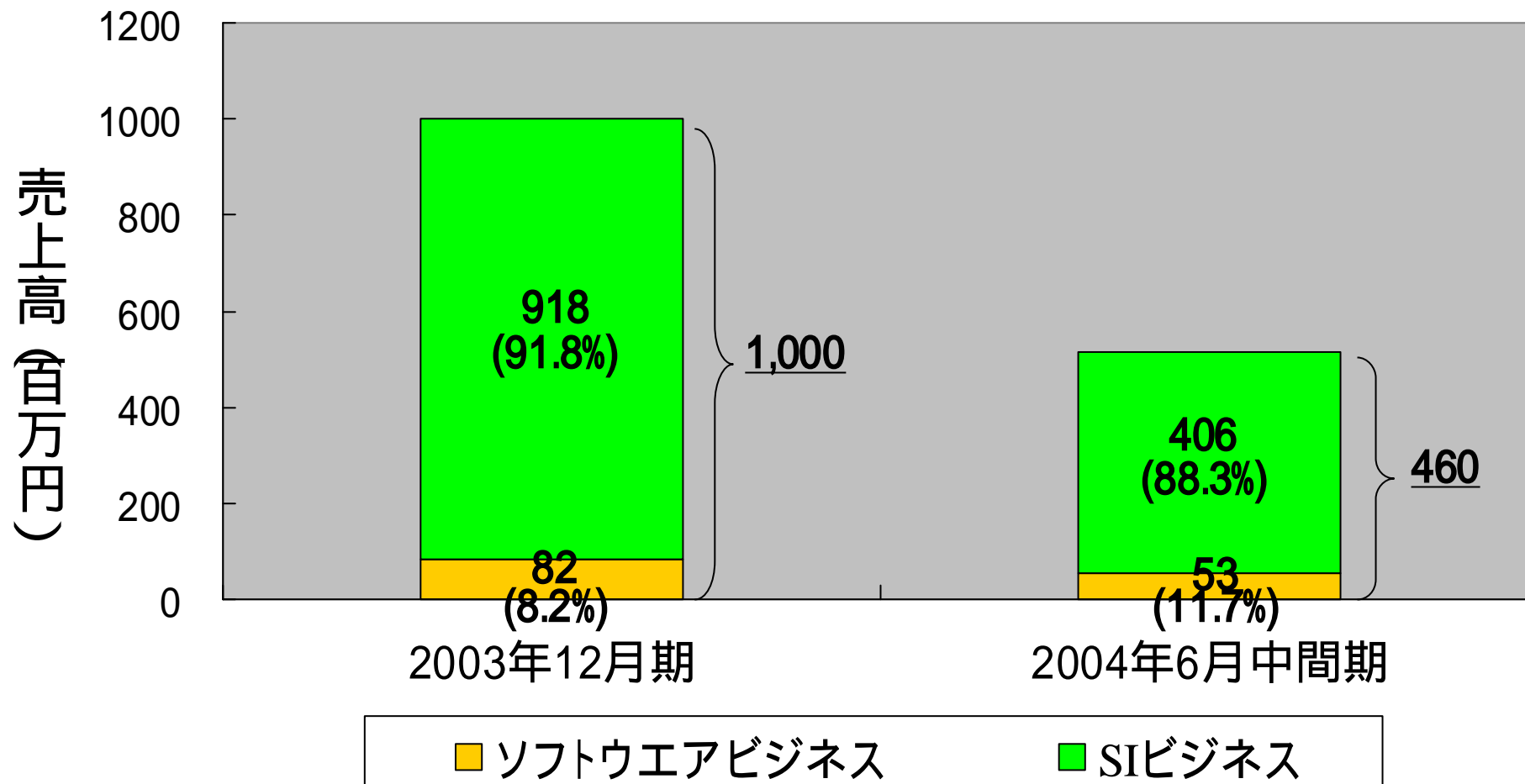


■ Linux売上高
 ■ Java売上高
 ◆ Linux利益率
 ▲ Java利益率

Linux関連事業売上高の内訳



Java関連事業売上高の内訳



2004年6月中間期末貸借対照表



(単位:百万円)

貸借対照表	2003年12月 期 末	2004年6月 中間期末	増 減
流動資産合計	1,076	1,248	172
固定資産合計	149	177	28
資産合計	1,225	1,426	200
負債合計	491	468	22
資本合計	734	957	223
負債及び資本合計	1,225	1,426	200

2004年6月中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

キャッシュ・フロー計算書	2003年12月 期	2004年6月 中 間 期
営業活動によるキャッシュ・フロー	249	87
投資活動によるキャッシュ・フロー	20	18
財務活動によるキャッシュ・フロー	150	-
現金及び現金同等物の増加額	78	105
現金及び現金同等物の期首残高	175	254
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	254	149

2004年12月期 通期見通し

増収増益を見込む



2004年12月期 通期の見通し

(単位:百万円)

損 益	03/12期 実績				04/12期 予想	前期比
		上期実績	上期見込	下期予想		
売上高	2,594	1,917	1,890	1,479	3,397	+31.0%
Linux関連事業	1,593	1,457	1,445	1,002	2,459	+54.3%
Java関連事業	1,000	460	444	477	937	-6.3%
営業利益	156	169	163	58	228	+46.0%
経常利益	156	168	160	47	215	+37.6%
当期純利益	227	223	213	67	291	+28.3%

- Linux関連事業

- 課題

- サーバビジネス、ソフトウェアビジネスでの競争激化が徐々に進む

- 対策

- 差別化要因の見直しと、パートナー企業との戦略的な提携の推進

- Java関連事業

- 課題

- SIビジネスの利益率の低迷

- 対策

- システム受託開発における見積り精度向上とプロジェクト管理強化で、赤字案件や低利益率案件の撲滅

今後の事業戦略

テナート二の目指している方向



Linux関連事業

Java関連事業

オープンソースソフトウェアを
ベースとしたビジネス展開

来るべきオープンソース時代の
ビジネスリーダーを目指す

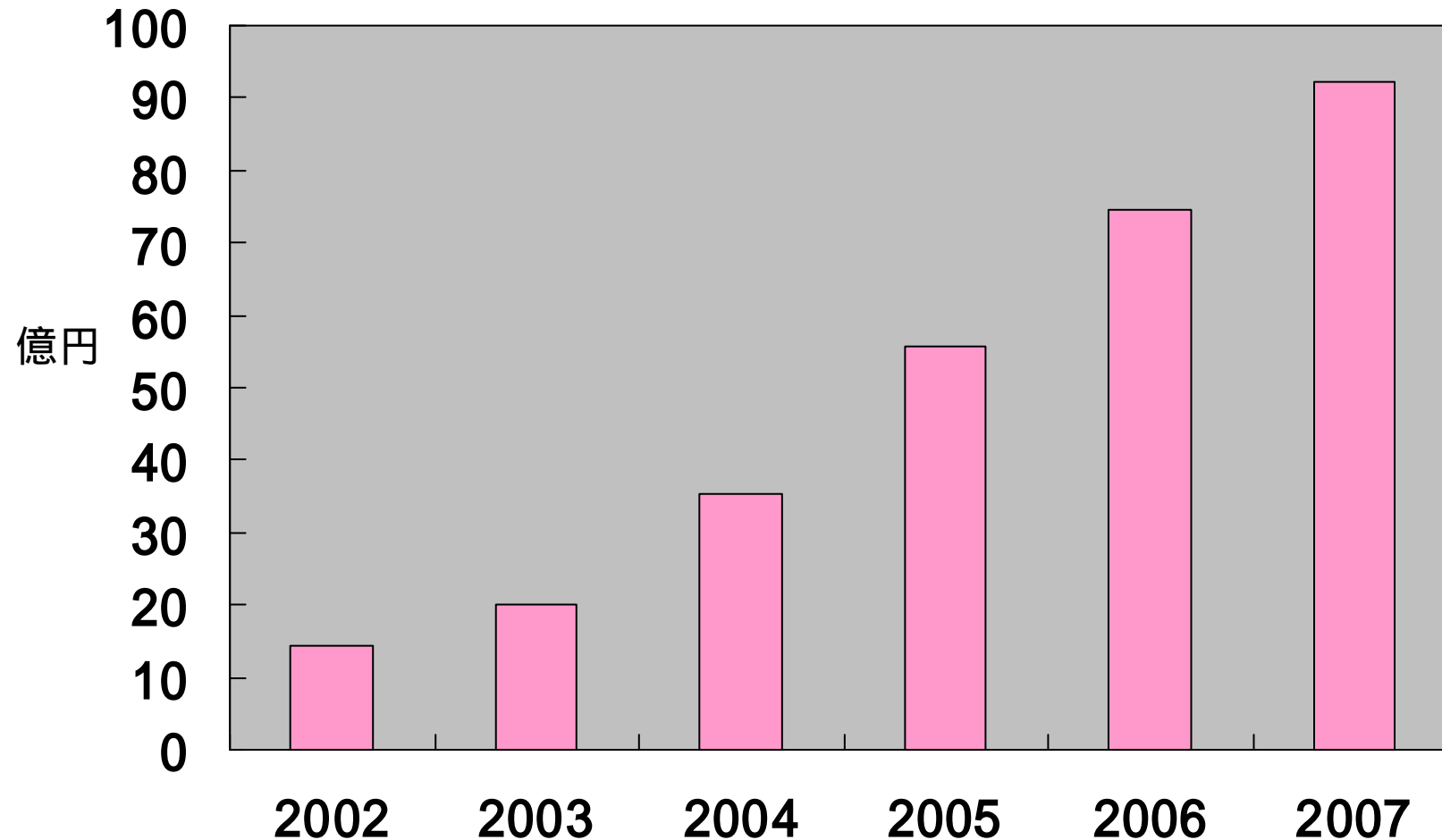
オープンソースとは?

- ソースコードと呼ばれる設計情報が開示されたソフトウェアを一般的にオープンソースソフトウェアと呼ぶ
- オープンソースソフトウェアの開発は、インターネット上に世界中のソフトウェアプログラマが無償で参加するコミュニティが形成され、通常そこで行われる
- ソフトウェアプログラマは、開発成果を競い、賞賛し合う。そのような動きがオープンソース発展の源となっている
- **世界の代表的なオープンソースソフトウェア:**
 - **Linux**
 - ユーザ数の伸長率が世界で最も高いOS
 - **Apache**
 - 世界で最もシェアの高いWebサーバソフトウェア
 - **Mozilla**
 - Netscapeから生まれたオープンソースのWebブラウザ、メール関連ソフトウェア

オープンソースソフトウェアの市場



国内LinuxサーバOS市場規模予測(ベンダー売上額ベース)



(出典: IDC Japan, 国内オペレーティングシステム市場: Linux市場分析と予測2003年~2007年)

2004年8月10日

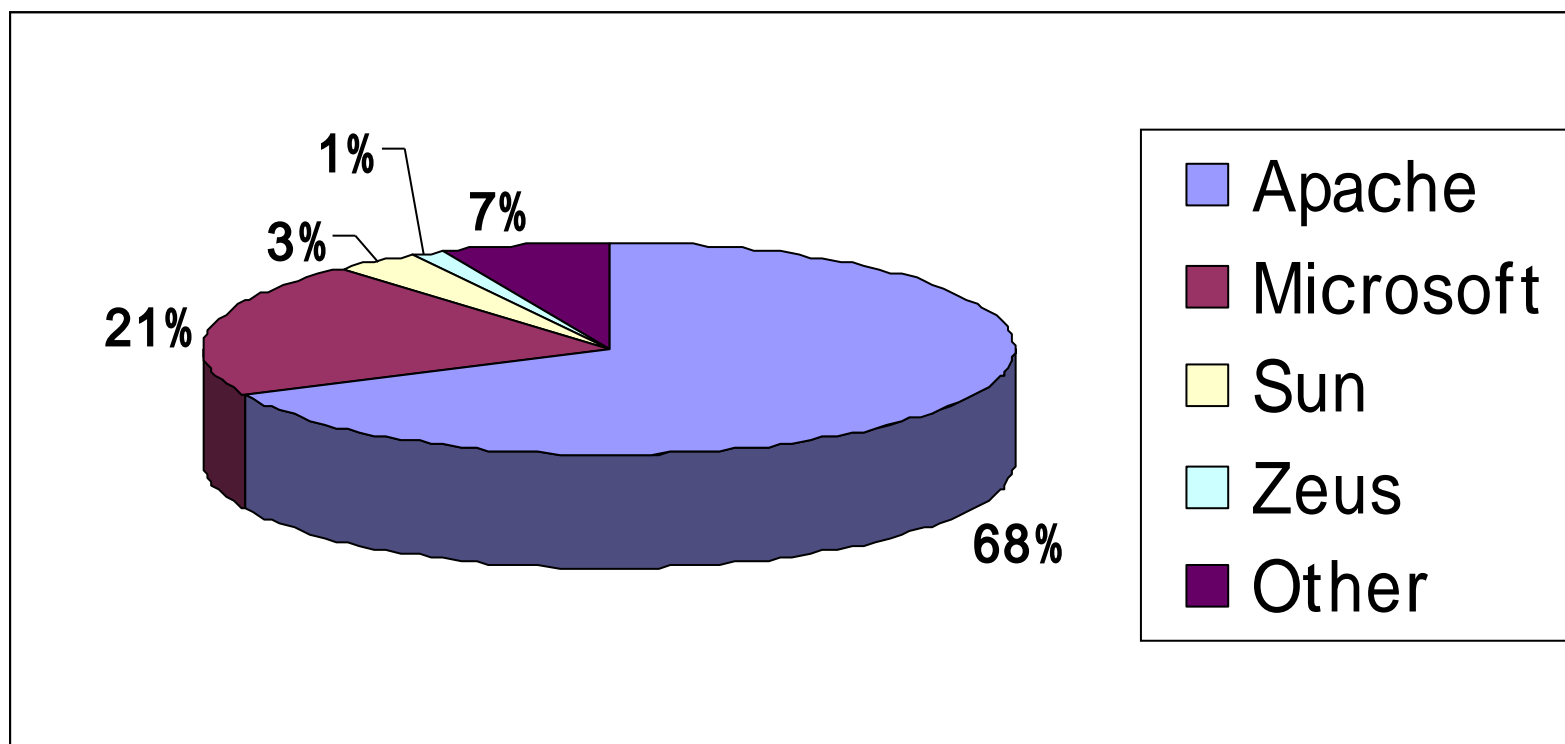
株式会社テンアートニ

20

オープンソースソフトウェアの市場



世界のWebサーバの市場シェア(2004年7月)



出典: 英国 Netcraft (世界の52,131,889サイトからのレスポンスを取りまとめ)

**オープンソースのWebサーバソフトウェア、Apacheが
圧倒的なシェアを握る**

オープンソースのアドバンテージ



- ソースコードが開示されている
 - ユーザが、同時に開発者にもなれる
 - 多くの開発者により改良が為され、品質があがる
- 数多くの開発者の協力を得ることが出来る
 - 企業内開発のソフトウェアでは、通常企業内の開発者数に限られる
- ベンダーロックインから解放される
 - 独占支配の排除が可能
- セキュリティ上、優位性が認められる
 - 多くの開発者により、頻繁で迅速なバージョンリリースが行われており、セキュリティ問題対応を素早く行うことが可能
 - 緊急時に自ら対策を打つことが可能

- Linux関連事業

- ソフトウェアビジネス

- Red Hat Enterprise Linux Standard Plus
- LifeKeeper
- その他

- SIビジネス

- Linuxアップデートサービス
- コンサルティング、システム構築支援、サポート

- サーバビジネス

- Linuxサーバハードウェア: Northern Lights

- その他(オープンソースコミュニティへの貢献)

- 有限責任中間法人Mozilla Japan(米国NPO法人Mozilla Foundationのアフィリエイトとなる予定)の設立基金を全額拠出

- Java関連事業: オープンソースの事業(新規)
 - ソフトウェアビジネス
 - **Ten Art-ni Ninja-VA**
 - 新規開発したオープンソースのJavaシステム開発用ミドルウェア
 - SIビジネス
 - OSS(オープンソースソフトウェア)によるアプリケーション構築/サポートサービス

対象OSS	サポートサービス	導入コンサルティング	アプリケーションサーバ構築サービス
OS : Red Hat Enterprise Linux	○	-	○
Webサーバ: Apache	○	○	○
Servletコンテナ: Tomcat	○	○	○
EJBコンテナ: JOnAS	○	○	-

- オープンソースに圧倒的な強み
 - 業界トップクラスのオープンソースソフトウェア (Linux やJavaソフトウェア) を使ったシステム構築実績
 - 会社設立以来積み上げてきたLinuxサポートナレッジベース
 - 世界最大のLinux販売会社、Red Hatとのビジネスパートナーアライアンス
 - 豊富なJavaアプリケーション構築実績をもとに開発したJavaアプリケーションミドルウェア = WebWorkBenchシリーズ 新バージョン Ninja-VA
- オープンソースでインフラ (ハードウェア、OS=Linux) から、アプリケーション (Javaを使ったWebアプリケーション) まで対応できるワンストップソリューションの提供

オープンソースがソフトウェア産業の
ビジネスモデルを変える!



LinuxとJava: キーテクノロジー



来るべきオープンソース時代の
ビジネスリーダー



テンアート二

